



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

校訓「信頼」を大切に

3年生の受験が本格的に始まっています。高校受験の面接で、校訓について聞かれることもあります。皆さんは正しく答えることができるでしょうか。

昨年度の面接練習の中で、「内子中の校訓は？」の質問に対し、「凡事徹底」との答えた生徒がいました。「凡事徹底」が根付いているのは有難いことですが、本校の校訓は、「信頼」です。よく目に付くように職員玄関横の石碑や教室の前面に掲げていますので、間違えないように注意しましょう。

ちなみに、校訓は、学校が定めている教育に関する目標や方針などを成文化したものです。

会社であれば「社訓」、家庭であれば「家訓」などを定められているところもあります。

信頼とは、「信じて、頼りにすること」あるいは「頼りにできるとして信じること」という意味で、「信じ、頼りにする気持ち」を指して「信頼」ということもあります。近年、話題に取り上げられる「絆」「感謝」「ONE TEAM」などの言葉にも、通じるところがあるかもしれません。

私が内子中に赴任して、はや2年と10か月が過ぎようとしています。本校では校訓がしっかり実践されており、生徒・保護者・教職員・地域の皆さんの様々な関係の中で、信頼関係がしっかり築かれていると感じています。2か月後に卒業を迎える3年生を含め、引き続き、「信頼」の言葉を大切に過ごしてほしいと思います。



中学校最後の定期テスト(3年生)

18日～20日の3日間、3年生にとって9年間の義務教育最後となる定期テストを行いました。3年生の皆さんは自分の力をしっかり出し切ることができたでしょうか。

1月に入り、実力テスト、私立高校推薦入試、国立高校・高専推薦入試、そして今回の学年末テストとテストが続き、睡眠不足になっている人が多いかもしれません。

焦る気持ちがあるとは思いますが、体調を崩すと元も子もありませんので、休養（睡眠）、栄養、運動を大切にしてほしいと思います。それが、免疫力アップにつながり、新型コロナウイルスやインフルエンザへの感染防止に効果があります。



面接練習も頑張っています

現在、私立高校一般入試、県立高校推薦入試等に向け、放課後を利用した、校長と教頭による面接練習を行っています。

事前指導として、3年部の先生方に特訓していただいております、どの生徒もしっかりと自分の考えが言えるようになっていきます。

受験本番では、きっと緊張すると思いますが、普段通りの自分がしっかり出せるよう、本番のつもりで練習に励んでほしいと思います。



教職員のつぎやきコーナーより

先を見通して準備をしよう

世の中には、目の前のことだけで精一杯な人もいれば、ずっと先のことを見通して、準備をしている人がいます。皆さんはどちらのタイプですか。

- 受験・・・受験勉強は3年生での考えは怖い。受験には、1・2年生の学習内容が70%位出題されます。それぞれの学年で、分からないことが分かるようになるよう学習しておきましょう。その一つとして、毎日の自主学習を上手く活用しましょう。
- 生徒会・・・先輩が築いてきたことを確実に引き継いでから、新たな企画を考えましょう。土台のできていない人に新しい風は吹かせられません。
- 先輩・・・先輩として新入生に何を伝えますか。準備を始めましょう。そして、後ろ姿で語れる先輩になりましょう。「学校は楽しいけれども楽ではないところ」との、厳しい考えを忘れずに。
- 部活動・・・市郡総体まで、あと4か月。吹奏楽コンクールまで、あと7か月。どうすれば目標が達成できるかを考え、一つ一つの練習の意味を理解して、日々の活動に取り組みましょう。

きっと、早めに取り組むことで、余裕が生まれ、しっかり準備ができます。また、手直しもできます。

先人の後藤新平さん（医師・政治家）は、

「早し良し ちよど良し危うし 遅し悪し」との言葉を紹介されています。

早速、できることから始めてみましょう。